

# 宮沢地区公民館だより



令和5年6月1日  
発行：宮沢地区公民館  
電話・FAX22-0433

## 昨年、棚田カード45人 兵庫県からも

日本の原風景とも言われ、山の傾斜や谷間に作られた階段状の美しい水田、棚田。「やまがたの棚田カード（明光寺と高橋）」は、宮沢地区公民館で配布しています。昨年一年間で、棚田カードの配布者は45人。遠くは兵庫県から棚田めぐりに訪れた。



## 明光寺の棚田の説明

明光寺は翁山の裾野にあり、古い言い伝えにより、この地に明光寺・明見寺の二つの寺があったとされ大変栄え、多くの人々が住んでいたといわれていました。昭和中期に調査をしたがこれと違って出土発見されるものはなく、まるで東北のエメラルド伝説とも言えるでしょう。古来の言い伝えのお寺の名をとり「明光寺」とし、山紫水明の棚田として平成20年山形県棚田二十選に選定されました。

山形県棚田基金活用事業 中島明光寺団地

## 生きがい、健康、仲間づくり

### 5/10（水）宮沢地区老人クラブ役員会の開催

新型コロナで3年間も活動が制限されたので、今年はコロナ対策も緩和されたので、「参加して良かった」となるような活動を検討したい。老人クラブ総会（5/31）に向けた議案審議を行った。

しゃべって・食って・飲んで交流することが大切で、グランドゴルフや輪投げ大会、秋ごろ日帰り研修会を是非検討したいとあった。

## 市民将棋教室 参加者募集！

初心者大歓迎！ どうぞお気軽にご参加ください！

- ◆日時：毎週火曜日 午後1時～4時30分
- ◆場所：サルナート ミーティング室
- ◆参加費：無料

※連絡問合せ先 玉野地区公民館 近藤まで  
☎ 28-2111

## 「花いっぱい咲花草」運動

6月3日（土）定植作業（宮沢小前）

午前5時30分～ 約1時間

ベゴニア・マリーゴールド・ブルーサルビア

## 気持ちのよいあいさつ

### 5月～11月 さわやかあいさつ運動

「おはようございます。→ おはようございます。」  
宮沢小学校の校舎に響く。気持ちの良い挨拶である。

5月10日あいさつ運動がはじまり、地域の区長、防犯協会、子供会、青少年健全育成市民会議、警察署、地区公民館等から参加して、児童にポケットティッシュを配った。あいさつを通じて、地域の人と人のつながりが深まり、住みよい地域づくりになります。



## ヨガ教室

6月14日（水）／6月28日（水）

時間：10:00～11:00

場所：尾花沢市地域交流センター

参加費：500円

持ち物：ヨガマット

（なければバスタオル）

# 宮沢と満州 その1 両親と死別、満州から 幼い兄妹だけで引き上げ

終戦時、私は小学3年生だった。その翌年の秋、私の住む中島集落の片倉家に片倉昭良君が3歳下の妹と幼い二人だけで満州から引き揚げて来た。彼は私と同級生で中学卒業まで同じクラスで仲良しだった。帰国の船中で両親が死亡したと言う。どんなにか悲しく二人で泣きあかした事でしょう。幸い佐世保港で酒田に帰国する人がいて、中島の父の実家まで連れて来てもらったと言う。

満州はたった13年間の国家だったが、新天地を求めて、開拓団移民、満蒙開拓青少年義勇軍、種々職業で渡満した日本人は150万人。私の叔父喜代治も山形工業校卒と同時に渡満し、満州の国策会社に就職していた。終戦、ソ連軍の侵攻から逃れ命からがら我が家に辿り着いた。

日本の国策を一片の疑いも無く信じて渡満したものの、終戦真近には青壮年は根こそぎ兵隊に現地召集。侵攻して来たソ連軍との戦闘の結果、戦死、またシベリヤへ連行。自分たちを守ってくれると信じていた関東軍は開拓団の女姓や子供を置き去りして撤退、開拓団員は食糧も持たず着のみ着たままの地獄の逃避行。27万人いた入植者のうち約8万人が故郷の土を踏むことができず亡くなったと言う。どうにか苦難を生き抜いて帰郷を果たした人たちが宮沢にも数人いる。だが帰郷しても住む家も、耕す土地も無く、そのうえ夫が死亡かソ連抑留の家族も多く、妻と子だけで生きて行かねばならず、故郷もまた安住の地ではなかった。

宮沢の集落には「満州」と呼ばれる屋号の家が数軒あり、満州からの引き揚げ家庭である。宮沢の満州関係の記録は、終戦直後に宮沢村役場が焼失した事もあって乏しい。だが開拓団移民としては山形県が長野県に次いで多く1万8千人が入植していた。その中の中島の原田竹松さんが開拓団村長として手記を残しておられる。また関谷の石山進さんは満蒙開拓青少年義勇軍応募し義勇軍の体験からソ連抑留まで手記『満州からソ連抑留 連行7500キロ』を記しておられる。これは私が石山さんに原稿をお願いし、それを私がパソコンで打ち『宮沢地区公民館だより』に平成15年から16年にかけて14回にわたり掲載し、その後冊子にまとめたものである。(下写真)

また当時4歳で満州開拓団にいて中島に引き揚げてきた中原康雄さんの記憶も貴重である。中国人から食糧持たされ馬車で港まで親切に送られた事などである。

それ等を順次紹介しながら帰国後の歩みも記してみたい。

戦後78年、渡満された人々は他界され、彼の地で生まれ、苦難の引き揚げを体験された方々も高齢となり、このままだと国策を信じて渡満した人たちの思いが忘れ去られると思い、宮沢地区公民館、歴史保存会と相談し『地区公民館だより』に「宮沢と満州」と題して、一ヶ年連載する事になりました。浅学菲才の文章ですがご愛読をよろしく申し上げます。



故石山 進さん



文責 宮沢地区歴史保存会 三浦 幹雄

## 【6月の行事予定】

日	時間	内容
3日(土)	5:30	フラワーロード「定植作業」
7日(水)	8:30	宮沢小の児童「定植作業」
9日(金)	7:40	さわやかあいさつ運動
11日(日)	8:20	翁山安全祈願祭・翁山登山
22日(木)	9:00	おきな茶屋



## 宮沢地区の人口と世帯

(5/1現在) (前月比)

男 803人 (-4)

女 785人 (-4)

計 1588人 (-8)

世帯数 584世帯 (-1)